



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年10月24日

上場会社名 株式会社エイトレッド 上場取引所 東
コード番号 3969 URL <https://www.atled.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 康広
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 新 祐介 TEL 03-3486-6312
半期報告書提出予定日 2024年10月31日 配当支払開始予定日 2024年12月2日
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	1,377	17.4	529	9.6	530	9.7	354	9.1
2024年3月期中間期	1,172	11.0	483	3.4	483	3.4	324	4.4

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	47.34	—
2024年3月期中間期	43.38	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	6,039	4,872	79.6
2024年3月期	5,726	4,604	79.5

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 4,810百万円 2024年3月期 4,553百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2025年3月期	—	16.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,800	11.9	1,170	11.4	1,170	11.0	784	9.8	104.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2025年3月期中間期	7,487,400株	2024年3月期	7,487,400株
2025年3月期中間期	185株	2024年3月期	185株
2025年3月期中間期	7,487,215株	2024年3月期中間期	7,487,215株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3の「1. 経営成績等の概況（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政成績の概況	2
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果等により緩やかな景気の回復が続くことが期待されるものの、地政学的リスクの高まりや物価上昇、供給面での制約、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響や中国経済の先行き懸念等を背景とした海外景気の下振れ等の懸念により、先行きは依然として不透明な状況が継続しております。

当社が属するIT業界は、ソフトウェア投資が増加しており、企業収益の改善等を背景に、今後もITへの投資は堅調に推移することが期待されます。また、少子高齢化や労働人口の減少等を背景に、労働生産性の向上が課題となっており、既存システムの刷新やデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進によるIT投資需要の高まりを受け、当社が展開するワークフローソフトウェアについても需要が拡大し堅調に推移いたしました。

このような状況の中で、当社はワークフローソフトウェアメーカーとして、Webを活用したセミナーの開催及び全国主要都市でのパートナー企業との共同セミナーの開催、市場優位性を確保するための製品・サービスの機能強化、並びに急速に拡大するクラウドサービス市場のシェア獲得に向けたクラウドビジネスの拡大に注力してまいりました。

これらの結果、当中間会計期間の売上高は13億77百万円(前年当中間期比17.4%増)、営業利益は5億29百万円(同9.6%増)、経常利益は5億30百万円(同9.7%増)、中間純利益は3億54百万円(同9.1%増)となりました。

なお、当社の事業はワークフロー事業の単一セグメントのため、製品・サービス別の業績の概要を記載しております。

(パッケージソフト)

X-p o i n tは、クラウドサービスへシフトしたこと等により売上高が減少いたしました。A g i l e W o r k sは、メジャーバージョンアップによるアップセルや、新規導入企業数が順調に増加したこと等により売上高が増加いたしました。その結果、当中間会計期間のX-p o i n t売上高は1億27百万円(同13.9%減)、A g i l e W o r k s売上高は6億14百万円(同18.2%増)となり、パッケージソフト全体の売上高は、7億41百万円(同11.1%増)となりました。

(クラウドサービス)

クラウドサービスは、クラウドサービス市場の成長及びDXの推進に伴うワークフロー需要の拡大を背景として、Webを活用したセミナー、無料トライアルの実施等により、新規導入企業数が順調に推移しました。また、パッケージソフトのX-p o i n tからのシフトも増加いたしました。その結果、当中間会計期間のクラウドサービス売上高は、6億35百万円(同25.7%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間会計期間末の資産合計は60億39百万円となり、前事業年度末に比べ3億12百万円の増加となりました。これは、主に現金及び預金が2億22百万円、ソフトウェアが83百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当中間会計期間末の負債合計は11億67百万円となり、前事業年度末に比べ45百万円の増加となりました。これは、主に契約負債が36百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当中間会計期間末の純資産合計は48億72百万円となり、前事業年度末に比べ2億67百万円の増加となりました。これは、主に利益剰余金が2億57百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比較して2億22百万円増加し、47億36百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、5億42百万円(前年同期は5億13百万円の獲得)となりました。これは、主に法人税等の支払が1億89百万円あったものの、税引前中間純利益が5億30百万円、減価償却費が1億67百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2億22百万円(前年同期は2億20百万円の使用)となりました。これは、主に無形固定資産の取得による支出が2億21百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、97百万円(前年同期は89百万円の使用)となりました。これは、配当金の支払が97百万円あったことによるものであります。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績は、計画どおりに推移しております。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,514,017	4,736,409
売掛金	302,780	318,301
電子記録債権	59,225	75,066
その他	32,443	34,764
流動資産合計	4,908,466	5,164,542
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	35,886	30,090
その他(純額)	4,881	5,221
有形固定資産合計	40,767	35,311
無形固定資産		
ソフトウェア	596,717	680,684
ソフトウェア仮勘定	39,217	15,876
無形固定資産合計	635,935	696,560
投資その他の資産	141,499	143,133
固定資産合計	818,203	875,005
資産合計	5,726,669	6,039,547
負債の部		
流動負債		
買掛金	37,554	35,101
未払法人税等	203,417	191,009
契約負債	554,389	590,789
賞与引当金	55,681	61,212
その他	123,372	137,997
流動負債合計	974,415	1,016,109
固定負債		
退職給付引当金	53,727	55,050
役員退職慰労引当金	25,935	27,985
資産除去債務	67,937	68,045
固定負債合計	147,599	151,080
負債合計	1,122,014	1,167,189
純資産の部		
株主資本		
資本金	621,916	621,916
資本剰余金	621,916	621,916
利益剰余金	3,309,722	3,566,826
自己株式	△397	△397
株主資本合計	4,553,157	4,810,260
新株予約権	51,498	62,098
純資産合計	4,604,655	4,872,358
負債純資産合計	5,726,669	6,039,547

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	1,172,997	1,377,064
売上原価	327,509	462,372
売上総利益	845,488	914,691
販売費及び一般管理費	362,434	385,098
営業利益	483,054	529,592
営業外収益		
受取利息及び配当金	20	397
その他	38	15
営業外収益合計	58	413
経常利益	483,113	530,005
特別利益		
新株予約権戻入益	628	-
特別利益合計	628	-
税引前中間純利益	483,742	530,005
法人税、住民税及び事業税	159,989	177,445
法人税等調整額	△1,066	△1,876
法人税等合計	158,923	175,568
中間純利益	324,818	354,437

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	483,742	530,005
減価償却費	131,737	167,519
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,595	5,531
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	773	1,322
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,650	2,050
受取利息及び受取配当金	△20	△397
株式報酬費用	8,526	10,600
新株予約権戻入益	△628	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△19,165	△31,362
仕入債務の増減額 (△は減少)	16,951	△2,453
契約負債の増減額 (△は減少)	23,434	36,400
未払金の増減額 (△は減少)	425	16,274
その他	21,166	△3,770
小計	674,189	731,719
利息及び配当金の受取額	20	397
法人税等の支払額	△160,544	△189,456
営業活動によるキャッシュ・フロー	513,666	542,660
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,600	△1,743
無形固定資産の取得による支出	△218,557	△221,224
敷金の差入による支出	△739	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△220,897	△222,968
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△89,776	△97,299
財務活動によるキャッシュ・フロー	△89,776	△97,299
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	202,991	222,392
現金及び現金同等物の期首残高	4,069,391	4,514,017
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,272,383	4,736,409

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、ワークフロー事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。